

はるかな尾瀬

— 目 次 —

02 特集

「認定ガイド」利用のススメ

04 現地情報

05 認定ガイドがススめる とっておきの尾瀬

①私は雨の尾瀬が好きです

②尾瀬の魅力の一つは、四季折々の変化です

06 尾瀬から学ぶスローライフ

根羽沢鉱山での生活

07 エッセイ尾瀬好日

私の尾瀬

08 尾瀬ボランティア情報

09 T O P I X

10 尾瀬保護財団からのお知らせ



2013.1 vol.20
(財) 尾瀬保護財団



雪原の目覚め（第17回NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト入選作品—撮影 浅賀よう子さん）

特集

「認定ガイド」利用 のススメ



尾瀬認定ガイド制度の概要

平成18年に策定された「尾瀬ビジョン」で環境教育とエコツーリズムを推進するため、ガイドの資格認定（登録）制度の創設と、ガイド利用の促進に取り組んでいくこととなりました。これを受け、平成19年9月に尾瀬認定ガイド制度について具体的な検討を行うため「尾瀬認定ガイド制度研究会（事務局…尾瀬保護財団）」が発足し、平成20年5月には「尾瀬認定ガイド協議会（事務局…尾瀬保護財団）」が発足しました。平成21年11月には尾瀬自然ガイド134名が誕生し、平成22年度から本格的にガイド活動を開始しました。また、平成23年4月には名称を「尾瀬認定ガイド協議会から「尾瀬ガイド協会」と改めました。

尾瀬ガイド協会では、尾瀬国立公園で高いガイド技術と正確な救急法を備え、尾瀬と周辺地域の

別表

※平成24年度現在

ガイドの種類	尾瀬自然ガイド	尾瀬登山ガイド
認定内容	尾瀬でガイド活動する上で、必要な知識や技術を有する者	尾瀬自然ガイドに認定された者で、至仏山、燧ヶ岳、会津駒ヶ岳などの山岳地域でのガイド活動に必要な登山技術などを有する者
ガイドの対象区域	尾瀬国立公園全域（至仏山、燧ヶ岳、会津駒ヶ岳、田代山、帝釈山などの山岳地域および残雪期の温泉小屋～三条ノ滝（段吉新道を除く）および尾瀬沼南岸を除く）	尾瀬国立公園内の山岳域を含む全ての登山道（ただし、廃道になっているり、立ち入り規制されている登山道を除く）。また、立ち入りや入山規制等がある場合は、規制内容を遵守する
ガイドの活動期間	尾瀬に通じる道路の開通日から閉鎖日まで	尾瀬に通じる道路の開通日から閉鎖日まで（ただし、山岳地域の活動期間は別途決まりあり）
認定期間	3年	3年
認定方法	協会が定める受験基準を満たす者が、原則として協会が実施する検定（筆記・実地）を受検し、合格した者	協会が定める受験基準を満たす者が、原則として協会が実施する検定（レスキュー・実地）を受検し、合格した者。また、受験基準を満たしている者のうち、公益社団法人日本山岳ガイド協会が認定する登山ガイド以上の資格保有者については、書面による申請で認定
ガイドレシオ （ガイドと参加者の比率）	ガイド1人あたりの催行人数は15名まで（8名程度が望ましい）	ガイド1人あたりの催行人数は12名まで（8名程度が望ましい）

魅力を解説できる知識と能力を持ち、自然保護の原点ともいえる尾瀬において自然保護の精神や環境保全、適正利用への理解と啓発を行うことができるガイドを認定することを目的としており、認定したガイドにより、尾瀬において安全で快適な質の高い自然体験が提供されることを目標としています。

尾瀬ガイド協会が認定するガイドの種類は「尾瀬自然ガイド」と「尾瀬登山ガイド」の2種類あります。（詳細は別表参照）

尾瀬認定ガイド制度は各個人の持つガイド資質

が一定レベル以上であることを認定するものであり、認定されていない者が尾瀬をガイドできなくなるようなものではありません。また、認定ガイド制度によってガイド料が一律になるのではなく、各ガイド、ガイド団体のガイド料はそれぞれの団体、個人がガイド内容等により独自に設定しています。

認定ガイドのスキルアップ

尾瀬ガイド協会で認定された尾瀬自然ガイドは202名（平成24年11月末現在）いますが、認定期間は3年間となっており、今年の3月には平成21年11月に認定されたガイドが更新時期を迎えます。認定期間の更新には、更新講習や救急法（心肺蘇生法やAEDを用いた除細動など）の講習も受講することとなっています。

尾瀬自然ガイド更新講習は、昨年6月から9月にかけて尾瀬の現地で行われました。更新講習では座学として「尾瀬で見られる哺乳類」や、「尾瀬自然ガイドに必要な能力・技術」自然解説編」を行い、ガイド利用者が求めていることと、それに対して的確に答え、伝えるための技術を学びました。ワークショップでは、ガイド利用者から喜ばれた事例を参加者が発表し、講師からのコメントを交えて参加者同士が体験を共有しました。また、ガイド利用者の満足度を高めるためにやるべきことや、ガイド利用者が求めるサービス、ホスピタリティについて学びました。

この他にも、福島、群馬、新潟の各支部では年3回程度の研修を行っており、更なる質の高いガイドをめざして日々研鑽しています。

環境学習の場における認定ガイド

群馬県では、県内の小中学生が一度は尾瀬を訪れ、ガイドを伴った少人数のグループ（尾瀬認定ガイド一人あたり8人の児童・生徒）による質の高い自然体験を通して、身近な自然を守ることの大切さ、ひいては地球の環境を守ることの大切さを学んでもらいたい、さらに、ふるさとを愛する心を育んでもらいたいと願い、平成20年度から「尾瀬学校」を実施しています。平成24年度は1万1千人余りの児童・生徒が尾瀬を訪れました。また、福島県や新潟県魚沼市などでも環境学習の推進を行っています。



▲更新講習のようす

認定ガイドの利用のススメ

尾瀬には数百種の花が咲き、さまざまな歴史や伝説などがあります。これらの情報を全て理解して尾瀬に向かうことはなかなかできません。そこで、豊かな知識と経験を持った認定ガイドと一緒に尾瀬を歩くことで、安全かつ豊かな自然体験をすることが出来ます。

ガイド利用者からは、「自分では気付けない所をたくさん説明してもらえておもしろかった」「花の名前など色々教えてもらいました」「わかりやすい説明でとても楽しかった」などの感想をいただいています。



▲尾瀬学校のようす

○尾瀬ガイド協会

URL:<http://www.ozeguide.net/>

福島支部(尾瀬檜枝岐村温泉観光協会)

TEL:0241-75-2432 FAX:0241-75-2336

E-mail:info_f@ozeguide.net

群馬支部(片品山岳ガイド協会)

TEL:0278-58-7801 FAX:0278-58-7801

E-mail:info_g@ozeguide.net

新潟支部(魚沼市観光協会)

TEL:025-792-7300 FAX:025-792-7200

E-mail:info_n@ozeguide.net

事務局(尾瀬保護財団)

TEL:027-220-4431 FAX:027-220-4421

E-mail:info@ozeguide.net

ガイド料金は団体により異なりますが、平均的なガイド料金は、ガイド一人あたり1日2万円です。少し料金が高いと感じるかもしれませんが、尾瀬認定ガイドは、安全管理や行程（時間）管理もしっかりと行ってくれます。皆さんも尾瀬認定ガイドを利用して尾瀬の新たな魅力を発見してみたいかがでしょうか。

尾瀬保護財団では認定ガイドを利用してもらう機会を広げるために、旅行会社や出版社などを対象に尾瀬ガイドダンスを行っています。平成23年度からは、尾瀬の現地で旅行会社や出版社の方に実際に認定ガイドによるガイドを体験していただき、旅行会社の尾瀬ツアーでの認定ガイド利用の向上や雑誌等によるPRにより尾瀬認定ガイドの認知度の向上やエコツーリズムの推進に努めています。

尾瀬ガイド協会所属のガイド団体やガイド料金などの詳細は、尾瀬ガイド協会のホームページをご覧ください。

原をわたる風だより 山の鼻ビジターセンターより

第1回冬期調査

平成24年11月29日～30日の日程で尾瀬ヶ原の冬期調査に行ってきました。尾瀬の冬は人を寄せ付けない厳しいものです。この後、雪が深くなって尾瀬に行けなくなる前に、山の鼻ビジターセンターなどの施設に異常が無いか点検してきたわけです。

29日の天気は今ひとつ。鳩待峠に近づくにつれて雪になりました。登山口周辺から、膝より上くらいのかかり深い雪です。(写真1) そそくさと準備を整えて出発。峠を下りるとすぐに困難な状況に遭遇しました。木道上に雪が積もっているのですが、体重を支えるほどの強度が無く、踏み抜きの嵐です！いったんどこを歩けばいいのか、足場を探りながらの山行となりました。(写真2) それでも、人のいなくなった雪原のあちこちに動物の足跡が付いていて、アニマルトラッキングをしながら歩く楽しみもあります。この足跡

はツキノワグマでしょうか。よほど空腹で、まだ冬眠できないのかも知れないですね。(写真3)

1時間半もの時間をかけて、やっとの思いで山の鼻ビジターセンターに到着。すぐに周囲を点検しましたが、特に異常は無いようでホッとしました。(写真4)



▲写真1



▲写真2



▲写真3



▲写真4

ビジターセンター裏の積雪計によれば、積雪はおよそ50cm位ですが、吹きだまりはもっと深いところがあったので、もっと雪深い印象でした。鍵を開けて中に入りましたが、本当に冷え切っていて寒かったです。すぐにストーブをつけて、昼食を取り

ます。事前の天気予報では、明日は今日よりも天候が悪化するとこの予報でしたので、昼食後はすぐに尾瀬ヶ原方面に巡視に行くことにしました。この季節に雪中を歩くには、天気予報などの情報確認は重要ですね。山の鼻ビジターセンターまでは、ツボ足で歩いてきたのですが、ここからはスキーやスノーシューに履き替えて行動しました。尾瀬ヶ原は起伏もないし圧倒的に歩きやすいです。誰もいない、まっさらの雪原を黙々と歩いていくと、少しずつ天候が回復してきて、少しだけ周囲の景色が見えてきました。池塘は雪で覆われていますが、まだどこにあるかは分かる状態です。日没までの時間の関係で、下ノ大堀川の橋までしか到達できませんでしたが、その頃には、かかっていた霧が微妙に晴れてきて、素晴らしい風景を演出してくれました。こんな風景をここに人達だけで独占していいのだろうかという思いに駆られるほどの幻想的な風景でした。(写真5)

帰りには、至仏山に日が沈んでしまいましたがおかげでこちらもなかなか見ることの出来ないような風景を見ることが出来ました。(写真6) この日は山の鼻ビジターセンターに一泊です。



▲写真5



▲写真6

次の日はビジターセンターの内外を点検したり、山ノ鼻地区の水源地を巡視して、帰路につきました。昨日つけた足跡の上を歩いてもさらに踏み抜き！今回はずっとこの踏み抜きに苦勞させられた調査でしたが、見たこともないような尾瀬の風景を見ることができて幸せでした。

■連載コラム

認定ガイドがススめる とっておきの尾瀬

その19 私は雨の尾瀬が好きです 〈石塚照久（尾瀬自然・登山ガイド）〉

(A.R.S Tel 0241-78-7080 URL <http://www.npoars.jp/>)

A1 体調を整えて、ゆつくりペースで歩きましょう。尾瀬は天気が変わりやすい所ですが、雨の日には見られない良さがあります。例えば森の色が一番綺麗に見える、葉に付いた水滴が生きて輝いて見えます。私は雨の尾瀬が好きです。自然が魅せる最高の色だけでなく、山や森や湿原が発するたくさんのおいを感じてください。こんな自然が尾瀬認定ガイドと歩くことで見つかります。

A2 御池から燧ヶ岳（燧ヶ山）へいたぐらへへの登山道です。登山口から90分ほどで広沢田代に着きます。周りは森から湿原へと変わり、綺麗な池塘が見られます。そこから60分ほどで目の前が大きく開けた熊沢田代に到着です。池塘に挟まれたベンチはロケーション最高で、暖かいコーヒーでも飲みながら休憩したいですね。熊沢田代の上から見る景色も絶景ですよ。眼下には湿原に延びる木道と池塘、その右手には近寄ることのできない東田代が見えます。

A3 ①コンパクトなツッカーが便利です。山で飲むコーヒーは格別です。②マフラー型タオルは寒いときには首に巻いたり、汗や手を拭いたりできる便利なアイテムです。③ファーストエイドキット。テーピングテープは登山靴が壊れたときの応急処置にも使えます。



A4 九州からのお客さまを、沼山峠・尾瀬沼・三平峠・一ノ瀬とガイドした時のこと。参加者に85歳の女性があり、三平峠からの下りは手を引いて、なんとか一ノ瀬に到着しました。ツアー終了の際に、そのお客さまから「冥土の土産になりました」と拜まれてしまいました。私は福島県在住のガイドなので、沼山峠発の最終バスに間に合うよう走って帰りました。疲れましたが清々しい一日でした。

A5 一昨年3月の大震災と福島第一原発の事故によって、尾瀬のお客さまは減っていますが、それでも来ていただいた方にたくさん思い出を持って帰ってもらいたいです。また、尾瀬を後世に残すために力を注ぎたいと思います。

〔ガイドさんへの質問〕

- Q1 尾瀬の楽しみ方、Q2 オススメの尾瀬スポット、Q3 尾瀬歩きに便利な道具・装備
Q4 思い出のエピソード、Q5 今後の抱負・目標

その20 尾瀬の魅力の一つは、四季折々の変化です 〈高木律子（尾瀬自然ガイド）〉

（尾瀬の自然案内人）

A1 尾瀬の魅力の一つは、四季折々の変化です。一度来た場所でも、ぜひ2回、3回…とリピートして歩いてみてください。変化を感じること、尾瀬歩きが何倍も楽しくなりますよ！具体的には湿原の色づき具合、木々の芽吹き具合、花の種類や量、池塘の中の生き物、朝夕の冷え込み具合、湿原をわたる風、陽射しの強さなど、挙げたらきりがなくいろいろ訪れるたびに、小さくても新しい発見があるので新鮮な気分です。気持ちも体もリフレッシュできます。

A2 尾瀬で意外と面白いのが池塘ウォッチング。場所によってミズバショウが水中花になっていたり、クロサンショウウオの卵があったり。葉っぱを順々に水面に伸ばし、初夏に可憐な花を咲かせる「ヒツジグサ」は秋の紅葉もステキ。またアカハライモリやオゼイトトンボなど、生き物観察もできるので飽きません。風がない日、水面に逆さに映る景色にはつい見とれてしまいます。

A3 超薄手の撥水ジャケット。150〜170g程度と軽くてコンパクトに収納でき、多少の雨ならはじいてくれる優れモノ。蒸し暑くてレインウェアを着ると汗ばんでしまうような日でもこのジャケットなら快適。防風効果もあるので、私は少し肌寒いときにも着用しています。各アウトドアメ

ーカーさんから発売されています。ただし大雨には効果が薄いので、きちんとしたレインウェアの携行もお忘れなく。

A4 なんといってもガイドデビューした日は、忘れられない良い思い出です。その日は好天に恵まれ花々も豊富で美しく、トラブルなく順調そのものでした。尾瀬を歩いている最中に何度も参加者のみなさんが「来て良かった」「なんて素晴らしいところなのだろー」などと喜んでくださり、その姿を見て私自身が感激！案内を通じて人に喜んでもらえるというこの体験がきっかけでガイドの仕事が続けたいと思うようになり、私の今のライフスタイルへとつながりました。

A5 自分自身が冒険心や驚きを忘れずに、参加者の気持ちに寄り添って案内するよういつも心がけています。そして尾瀬をきっかりに、より多くの方々にハイキングやアウトドア・登山の魅力を知っていただき、たいと思っています。





▲S17年頃の根羽沢鉱山（当時写真）

尾瀬の入口である大清水にかつて金や銀が採掘された根羽沢鉱山があったことをご存じでしょうか。鉱山で栄えた「根羽沢地区」では、最盛期には千人を超える人が生活しており、学校や郵便局の他、映画館などの娯楽施設もありました。しかし、昭和18年に金山整備令により休山となったことにより人々は鉱山から離れ、昭和36年に閉山しました。今では集落や鉱山の跡を僅かに残すだけの場所となっています。現在では戸倉地区に居住されている方でも知らない人が多くなった「根羽沢地区」について、当時、鉱山の鍛冶工場に勤務し、家族とともに生活していた萩原平人さんにお話を伺いました。

根

羽沢での生活のようす

何人ぐらいいたかは覚えていないが、（太平洋戦争で出兵する際）千人針を作る時は、根羽沢地区に住んでいる人達だけで作れた。お祭りの時は、すごい人だった。小学校も一、六学年まであった。中学校ができた。話が合ったが、建設する前に終戦になってしまい、なくなってしまった。地元というよりも、遠くの鉱山から仕事に来ている人の方が多かった。

購買所、駐在所、郵便局、学校（体育館）のほかに映画館や喫茶店があった。自宅は、会社の人が用意してくれて、購買所のすぐ近くに家族で生活していた。（通里も）もみじ平一、三丁目まであった。

鉱

山での仕事

鉱山で使用する道具を作る鍛冶工場に勤務していた。のみやハンマーの他にも機械の部品を作ったりと範囲は広がった。鉱夫は夕方6時にサイレンが鳴って帰宅していたが、自分たちは残業をすることも多かった。徹夜で作業することもあって苦労したが、その経験が役立った。これが金だと見せてもらったことはあるが、目で見えないくらい僅か

な程度だった。鉱山の入り口には、元兵隊の守衛が立っていた。

楽

しかったこと

行事の時に映画やお芝居を観たことが楽しかった。なかでもお岩さん（四谷怪談）のお芝居は、面白かった。



▲お話しを伺った萩原平人さん（自宅の平人旅館にて）

戦

争により閉山

戦争では金よりも鉄の方が必要となったのだろう。専門家が来て、機材を壊して持って行ったが、1、2ヶ月もかからなかったと思う。

萩原さんは、97歳となる年齢を感じさせず、終始笑顔で質問に答えてくれました。途中、萩原さんが当時の写真等と一緒に保管していた「尾瀬小唄」の楽譜について尋ねると、歌詞は覚えていると言って、気さくに歌ってくれました。



▲萩原さんが保管していた「尾瀬小唄」（S5年発行）の歌詞

最後にこれからもお元気だと声をかけると、「今はとても楽しい。母ちゃんがむこう（天国）で待っているが、まだまだ行けそうもないよ」と笑って答えてくれました。

自然だけではなく、歴史的にも価値ある大清水地区の魅力を楽しんでみてはいかがでしょう。（※根羽沢鉱山跡は立入禁止となっています。）

尾瀬好日

尾瀬ボランティア
北原 周子 (No.947)

「私の尾瀬」

私と尾瀬との出会いは今から10年前、体調を崩し、著しく低下した体力を回復させようとウォーキングを始めて、最初に遠出したのが尾瀬でした。

「何故尾瀬ですか？」と言うと、今は東京在住ですが、生まれは群馬の水上当ったことと関係があります。父が藤原ダム工事をしていた時のことで、これも何かの巡り合わせでしょう。私の生まれた頃は「夏の思い出」の歌とともに空前の尾瀬ブームで、母から「近くに住んでいながら一度も行けなかった…。」と聞いていました。尾瀬は、ずっと長いこと近くて遠い憧れの場所でした。初めて山ノ鼻まで来た時、研究見本園から見上げる大らかな山容の至仏山が「さあ、ここまでおいでー」の手招きして笑っているようでした。池塘には、星をまき散らしたようにひつじ草の白い花が咲いていました。

この2年間「尾瀬を知るフィールド講座」で沢山の勉強をさせてもらいました。春のネ

イチヤースキーハイキング、至仏山の自然の科学、尾瀬ヶ原の湿原の生態や池塘の不思議、湿原復元の歩み、動植物や歴史…。おかげ様でより深く尾瀬の魅力を知り、より一層愛着が強くなりました。自然な成りゆきで昨年6月には尾瀬ボランティアに登録し、貴重な仲間との体験を分かち合う喜びも知りました。よい機会を与えていただいた尾瀬保護財団の皆様には深く感謝しております。生物多様性のホットスポットである尾瀬には、何度訪れてもまだまだ新しい発見や驚きがあります。その特異性に目を向けるのみならず、アヤマ平をはじめ沼尻、熊沢田代、至仏山等多くの登山者に踏まれて失われてしまった植生の復元にはこれまで46年もの歳月を要し、多くの関係者の惜しみない労力があつたことを忘れてはなりません。

昨シーズン、10月の至仏山での植生復元作業のお手伝いが私の「ありがと尾瀬」となりました。至仏山の1800m地点で手を休める時、太平洋と日本海の分水嶺となる山々の懷にやさしく抱かれ、ひっそりと広がる原や、そこに大小宝石のように散りばめられた池塘にうっとり見とれました。アヤマ平へと続く大好きなプライベート湿原横田代が草紅葉に染まり、空へと続く木道がくつきりと見

え、幸せな時間を過ごしました。

湿原あり森林あり、山あり沼あり川あり滝あり…。尾瀬は春夏秋冬それぞれ変化に富んで美しく、朝も昼も夜もそれぞれに素晴らしい表情を見せてくれます。実に多彩な生命の輝きに満ち、その恵みを享受する喜びを与えてくれます。この豊かな自然を後世につないでいくことは、お金に代えられない価値があると思います。



▲昨年春のネイチャースキーハイキングにて
(H24.4.28 筆者は左端から4人目)

尾瀬ボランティア情報

このコーナーは尾瀬ボランティアに登録されている方のためのページです。

●第17回尾瀬ボランティア総会の開催について●

今年度開催の第17回尾瀬ボランティア総会と交流会を次のとおり開催します。参加を希望される方は、2月22日（金）までに【ボランティア番号】【氏名】【交流会の参加・不参加】をメール、FAX、電話等でお申し込みください。

○開催日時／平成25年3月9日（土）

14時00分～17時30分

○開催場所／前橋市民文化会館第5会議室

○日程／14時00分～15時00分 講演

講師…前橋地方気象台

萩原隆嗣氏

15時15分～16時15分 総会

議題…平成24年度活動実績

平成25年度活動計画案

16時30分～17時30分 交流会

※交流会は前橋市民文化会館内のレストランで

開催します。

なお、参加負担金として25000円を当日いただきます。



●尾瀬ボランティア登録更新について●

尾瀬ボランティアの登録期間（2年間）が平成25年3月31日に終了しますので、今年度内に登録更新手続きを行います。詳細は別途郵送で通知しました資料をご覧ください。

「尾瀬カード」をご存じですか？

尾瀬カードはクレジットカード会社が当財団と提携し、発行されている「クレジットカード」の名称です。

このカードを利用された場合、利用額の0.5%相当額がカード会社から当財団へ寄付され、尾瀬の自然を守るための活動に使われます。

加入ご希望の方は、カード会社または尾瀬保護財団「尾瀬カード」担当までお問い合わせください。



オリエントコーポレーション



▲高崎展のようす



▲スライドレクチャーのようす

○第17回NHK「わたしの尾瀬」写真展 高崎展・前橋展を開催しました

尾瀬の魅力や貴重さを紹介するための「わたしの尾瀬」写真展を平成24年12月14日(金)から19日(水)まで高崎シティギャラリーで、平成25年1月15日(火)から21日(月)まで群馬県庁県民ホールで開催しました。

高崎展では、初日の14日に表彰式が行われました。表彰式後は、尾瀬認定ガイドによるスライドレクチャーを実施し、ガイドだからこそ知る尾瀬の魅力を紹介しました。

今後は東京都内や新潟県内などで写真展を開催する予定です。詳細は決まり次第、財団ホームページなどでお知らせします。

○2012年4月～12月の尾瀬保護財団の主な活動

4月16日	尾瀬ガイド協会認定審査委員会・理事会へ出席	7月6日	至仏山合同調査(残雪期)実施
20日	至仏山残雪期調査実施	7月8日	フィールド講座「至仏山の自然を科学する」開催
23日	公益財団法人移行のための「尾瀬保護財団最初の評議員選定委員会」開催	12日	第10回尾瀬国立公園快適利用の促進(利用分散等)に関する小委員会へ出席
25日	至仏山誘導ポール設置作業実施	21日	フィールド講座「夜の尾瀬へのいざない」開催
26日	片品村尾瀬交通対策連絡協議会へ出席	21日	マナー&クリーンアップ・チャレンジ2012 in 尾瀬の共催
26・27日	クラブツーリズム「初めての尾瀬教室」へ講師派遣	21・22日	財団法人群馬トラベルセンターへ講師派遣
28・29日	フィールド講座「尾瀬ヶ原ネイチャースキー・ハイキング①」開催	8月1・4・5日	クラブツーリズム「初めての尾瀬教室」へ講師派遣
28・30日	クマ定点観察調査実施	4・5日	フィールド講座「尾瀬ヶ原湿原の不思議をさぐる」開催
30日	至仏山誘導ポール点検作業実施	11日	至仏山マナーアップキャンペーン実施
5月3日	至仏山誘導ポール点検作業実施	18日	ぐんま環境学校(エコカレッジ)へ講師派遣
4・5日	フィールド講座「尾瀬ヶ原ネイチャースキー・ハイキング②」開催	18・19日	フィールド講座「尾瀬アニマルウォッチング」開催
7日	至仏山誘導ポール回収作業実施	9月1日	フィールド講座「尾瀬・地学入門」根羽沢鉱山編」開催
12日	クラブツーリズム「初めての尾瀬教室」へ講師派遣	3・4日	尾瀬サミット2012開催
13日	山の鼻ビジターセンター開所式	16日	至仏山東面登山道整備(金撤去作業)実施
15日～6月14日	群馬県庁県民センター「情報発信コーナー」へ啓発用パネル展示	17日	ぐんま環境学校(エコカレッジ)へ講師派遣
28・29日	尾瀬認定ガイド所属団体代表者会議へ出席	18日	至仏山東面登山道整備(金撤去作業)実施
6月2日	ごみ持ち帰り運動実施	20日	福島県南会津地方振興局へ講師派遣
7日	第1回至仏山環境調査専門委員会開催	22・23日	フィールド講座「尾瀬湿地原復元の歩み」開催
10日	NHK「わたしの尾瀬」写真展(千葉展)にてスライドレクチャー実施	29・30日	平成24年度第1回尾瀬賞選考委員会開催
16・17日	尾瀬ボランティア講座開催	30日	至仏山植生復元作業実施
19・20日	現地に尾瀬ガイドゲレンス開催(尾瀬沼・燧裏林道)	10月3日	至仏山合同調査(無積雪期)実施
23日	至仏山東面登山道整備(柵立て)実施	15日	クマ対策ブナ豊凶調査実施
28日	至仏山登山道除雪作業実施	16・17日	至仏山東面登山道整備(柵外し)実施
29日	ぐんまちゃん家ふるさと講座「自然がいっぱい! 尾瀬の魅力を知る」へ講師派遣	27日	尾瀬交通システム検討委員会へ出席
30日	尾瀬保護財団第37回理事会・評議員会開催	24日	平成24年度第1回尾瀬賞選考委員会開催
	第14回・15回尾瀬賞合同授賞式・記念講演開催	29・30日	群馬県立自然史博物館へ講師派遣
	NPO法人失敗学会へ講師派遣	12月2日	尾瀬ガイド協会認定審査委員会・理事会へ出席
		10日	



寄付のお願い

尾瀬保護財団では広く寄付をお願いしております。

当財団は、尾瀬国立公園において、利用者に対し自然への理解を深めるための解説活動や、適正な利用に関する普及啓発を実施するとともに、各種の環境保全対策や施設の管理運営等を行ない、尾瀬の優れた自然環境の保全に寄与する活動を続けております。

◆個人住民税の寄付金控除の対象に尾瀬保護財団が指定されました。

個人住民税の寄付金税制の拡充により、各都道府県・市区町村が条例で指定した法人に対する寄付が、住民税の控除対象となるようになりました。尾瀬保護財団は下記の県・市・町から指定を受けています。(財団への寄付を行った翌年1月1日にこれらの県・市・町にお住まいの個人が対象となります。)

福島県、群馬県にお住まいの寄付者：個人県民税

福島県富岡町、群馬県前橋市、群馬県高崎市、群馬県桐生市にお住まいの方：個人県民税と個人市民税・町民税

◆また、尾瀬保護財団は「特定公益増進法人」に指定されており、当財団への寄付は所得税・法人税の優遇措置を受けることができます。

※なお、所得税、住民税控除の対象となる方には、領収書の送付時にご案内資料等をお送りします。

◆企業・団体の皆様とより良いパートナーシップを築けるよう、下記の制度があります。

種 類	条 件	特 典
特別協賛寄付	3年に渡る毎年30万円以上の寄付、または一時の100万円以上の寄付	①財団機関誌、財団ホームページに企業等名称、ロゴマーク、メッセージを1年間掲載 ②尾瀬国立公園ロゴマークの取扱要領に基づき使用申請ができ、許可後は無償で1年間使用
協 賛 寄 付	3年に渡る毎年10万円以上30万円未満の寄付、または一時の30万円以上100万円未満の寄付	①財団機関誌、財団ホームページに企業等名称を1年間掲載

■寄付につきましては、財団事務局（群馬県庁17階・027-220-4431）にご来訪いただくか、財団にご連絡の上、下記口座にお振込をお願いいたします。

福島県	東邦銀行県庁支店	普通	1078095
	福島銀行本店営業部	普通	0590088
	大東銀行福島支店	普通	1287138
群馬県	群馬銀行県庁支店	普通	0515428
	東和銀行本店営業部	普通	0975531

新潟県	第四銀行県庁支店	普通	1182791
	北越銀行県庁支店	普通	0199366
	大光銀行新潟支店	普通	0837334

特別協賛寄付者のご紹介

※寄付日順、敬称略

Asahi
アサヒビール株式会社
2012年12月25日寄付

アサヒビール株式会社群馬支社 47都道府県において、アサヒスーパードライ缶、ビン及びスーパードライ ドライブラック缶1本あたり1円を各都道府県の売上に応じて、環境関連等の団体に寄付するもので、平成24年秋の第6弾キャンペーンにより239万円余のご寄付をいただきました。

(通算寄付総額 23,079,617円)

寄付者からのメッセージ：アサヒビール(株)群馬支社では、地域との共生や地域貢献を目標に掲げ、2009年春より、アサヒスーパードライ「うまい！を明日へ！プロジェクト“尾瀬の環境保全活動”」をスタート。売上の一部を尾瀬保護財団へ寄付させていただいています。より多くの県民の皆様と主旨を知っていただき、また、賛同いただくことで、県民の皆様とともに群馬県の環境保全を進めていきたいと考えています。群馬県の子供たちの未来のために、お役立ていただけたら幸いです。

尾瀬紀行

尾瀬紀行（信託ファンド）で収受した信託報酬の一部として総額538万円余りをご寄付いただきました。
平成19年より今回が6回目のご寄付となります。（通算寄付総額 40,159,497円）



2012年8月30日寄付

DIAMアセットマネジメント株式会社 今年度は269万円余りをご寄付いただきました。
（通算寄付総額 20,079,749円）

寄付者からのメッセージ：尾瀬の美しく貴重な自然を後世に受け継ぐために今回の寄付金が有効に活用され、環境保全の一助となることを期待しております。DIAMはこれからも金融の仕組みを通じて、社会に貢献する資産運用会社を目指します。



2012年8月30日寄付

株式会社第四銀行 今年度は51万円余りをご寄付いただきました。（通算寄付総額 4,553,882円）

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるため、今回の寄付金が有効に活用されることを期待しております。第四銀行はこれからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。



2012年8月30日寄付

新潟証券株式会社 今年度は9万円余りをご寄付いただきました。（通算寄付総額 1,475,632円）

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるために今回の寄付金が有効に活用されることを期待しております。新潟証券は第四銀行グループとして、これからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。



2012年6月8日寄付

株式会社群馬銀行 今年度は95万円余りをご寄付いただきました。（財団設立当初からの寄付を含め、通算寄付総額 25,193,517円）

寄付者からのメッセージ：信託報酬の一部が尾瀬保護財団への寄付となる仕組みの投資信託を取扱っており、多くのお客さまの善意の集大成を寄付させて頂きました。趣旨にご賛同頂き投資信託をご購入頂いた全てのお客さまに深く感謝いたします。



2012年6月7日寄付

株式会社東邦銀行 今年度は112万円余りをご寄付いただきました。（通算寄付総額 6,959,117円）

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けることを目的として、当ファンドの販売・運用を通じて地域社会の発展に貢献するとともに、広く尾瀬の自然を愛する皆様と共に力を尽くしていく所存であります。今後とも積極的にCSR（企業の社会的責任）を重視して取組んで参ります。



2012年2月27日寄付

ベisiaグループ ベisiaグループ様より308万円余りをご寄付いただきました。ベisiaグループ様では、グリーン家電エコポイント及び住宅エコポイントの交換商品として商品券を提供しており、商品券交換金額の一定割合を、環境保全等を行っている団体等に寄付する制度のもとにご寄付いただいたものです。（通算寄付総額 11,474,488円）

寄付者からのメッセージ：ベisiaグループは、「地域共生」を理念に自然環境保護にも積極的に取り組んでいます。今回の環境寄付に当たっては、当グループ発祥の地である群馬をはじめ、出店エリアの福島、新潟、栃木に広がる貴重な自然「尾瀬国立公園」の環境保全と適正利用を推進している尾瀬保護財団を選定させていただきました。群馬県が誇る豊かで美しい自然が、いつまでも多くの人々に楽しんでいただけることを、心より期待いたします。

協賛寄付者のご紹介

※寄付日順、敬称略

株式会社フレッセイ
2012年7月10日寄付

フレッセイと麒麟ビバレッジでエコ基金を創設し、フレッセイの各店舗で販売された麒麟ビバレッジの対象商品の売り上げ1本につき0.5円（両社で0.25円ずつ負担）をエコ基金に積み立て、その積立金を尾瀬の自然環境保護のため、30万円余りをご寄付いただきました。エコ基金からの寄付は、今回で3回目となります。（通算寄付総額 1,363,245円）

麒麟ビバレッジ株式会社
2012年7月10日寄付

フレッセイと麒麟ビバレッジでエコ基金を創設し、フレッセイの各店舗で販売された麒麟ビバレッジの対象商品の売り上げ1本につき0.5円（両社で0.25円ずつ負担）をエコ基金に積み立て、その積立金を尾瀬の自然環境保護のため、30万円余りをご寄付いただきました。エコ基金からの寄付は、今回で3回目となります。（通算寄付総額 1,156,508円）

**アサヒビール株式会社
群馬支社**
2012年7月5日寄付

尾瀬の自然環境保護のため、31万円余りをご寄付いただきました。これは、平成23年12月から平成24年3月までに利根郡内で販売された「アサヒスーパードライ」缶・びん1本につき1円をご寄付いただいたものです。（通算寄付総額 23,079,617円）

KDDI株式会社
2011年7月29日寄付

尾瀬の自然環境保護のため、84万円余りをご寄付をいただきました。これは、群馬県内のauショップで新規契約または機種変更によるau携帯の売上の一部をご寄付いただいたものです。（初回寄付）

株式会社福島銀行
2011年7月21日寄付

尾瀬の自然環境保護のため、50万円をご寄付いただきました。これは、販売されているエコ定期の残高の0.01%相当額をご寄付いただいたものです。（通算寄付総額 8,080,000円）

水上高原ホテル200
2011年5月27日寄付

水上より坤六峠を越えて尾瀬に入るツアーを実施しており、その収益の一部を尾瀬の自然環境保護の一助となるようにと30万円をご寄付をいただきました。今回で2回目の寄付となります。（通算寄付総額 540,000円）

編集後記

2012年シーズンの尾瀬国立公園入山者数が公表されました。入山者数は約32万4千人と30万人を超え、震災前の水準に戻りつつあります。これも尾瀬関係者の方々の地道な努力によるものだと思います。

昨年12月と今年1月に開催した「わたしの尾瀬」写真展には多くの方にご来場いただきました。遠くからわざわざ写真展を見るためにご来場いただいた方や、何十年も前に訪れた尾瀬のことを懐かしむ方、昨年初めて尾瀬を訪れて尾瀬の魅力にはまった方など、それぞれに「わたしの尾瀬」を思い出しながら写真展をご覧いただきました。（井）

尾瀬の三二観察 ①⑥

アケボノソウ（花期 8月－9月）

アケボノソウの名は花びら(花冠裂片)の模様由来するという。紫色の斑点を星、緑色の楕円を月に見立て、曙の空を連想したのだ。でも、月が2つということは火星の空かな～、などと考えている。

月は蜜腺だが、アリでは雄しべ雌しべの先端には触れず、蜜はなめられ損だ。花粉を媒介するのはハナアブやシマハナアブで、雄しべ雌しべをまたぐように止まり、口を伸ばして蜜をなめる。そのときアブは運んできた花粉を雌しべにつけ、雄しべは花粉をアブの腹面につける。

（フラワーエコロジスト 田中 肇）



『友の会』コーナー

「友の会」は豊かな尾瀬の自然を守る財団の活動を支援して下さる方々の集まりです。



年会費	○個人会員	1□ 2,000円
	○ユース会員（3月31日現在満22歳以下）	1□ 1,500円
	○家族会員（個人会員と同居の家族）	1□ 1,500円
	○賛助会員（団体・法人）	1□ 10,000円

☆友の会の会員期間は加入から1年です！

友の会の会員期間はご加入から1年間です。来シーズン尾瀬に行こうと考えられている方、いつ友の会に入られても、1年間フルに楽しんでいただけます。

★特典について

友の会に加入された方に次の特典をご提供させていただいております。

初回加入時：友の会会員バッチ進呈、各種資料送付

財団機関誌：年4回配布

宿泊割引：尾瀬戸倉、檜枝岐村周辺宿泊割引

（休日、祝祭日前等の除外日があります）

尾瀬周辺施設利用料割引等：対象施設等の詳細は、

尾瀬保護財団ホームページでご確認ください。

※賛助会員の特典は財団機関誌の送付のみ



oze mobile
携帯サイト
情報配信中

緊急情報
お知らせ
ライブ映像
など

尾瀬の質問も受け付けています
ツイッター
尾瀬情報配信

